２ 月 資 料 集

議題番号	資料等				件　　名	レジュメ頁
	連長	単会	回覧	掲示		
1（1）	○				防犯・交通事故情報	2
1（2）	○				火災・救急状況等報告	2
	○	○			家庭防災員制度の一部見直しについて【市連】	2
3（1）	○				済生会横浜市南部病院再整備事業にかかる説明会のお知らせ	4
3（2）	○	○			港南区ARフォトフレームについて	5
3（4）	○	○			令和4年度ICT活用アンケートについて	7
3（5）	○	○			「横浜市中期計画2022～2025」の公表について【市連】	8
3（6）	○	○			「特別市制度の実現に向けて～指定都市市長会シンポジウムin横浜～」について	9
3（7）	○				2027年国際園芸博覧会について【市連】	10
3（9）	○	○			令和5年度自治会町内会向けICT活用講座の実施について	12
4（1）	○	○			地域防犯連絡員の推薦について	14
4（2）	○		○		区連会会報誌「ひまわりの声　20号」	14

区連会資料
港南警察署　生活安全課

港南区の治安情勢
令和５年１月末現在

合　計

1　刑法犯認知件数（暫定数）

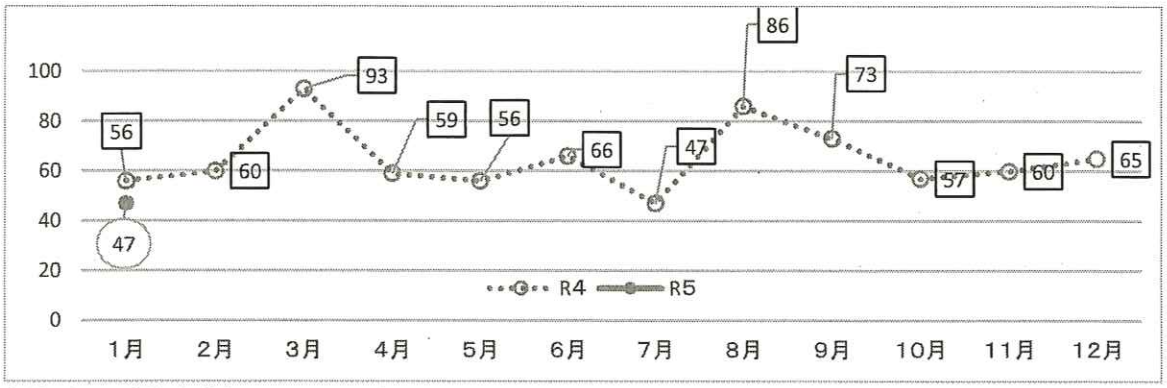
〔現状〕

	令和5年1月末現在	前年比	
港　南	47件	-9件	-16.1%
県　内	3,248件	833件	34.5%

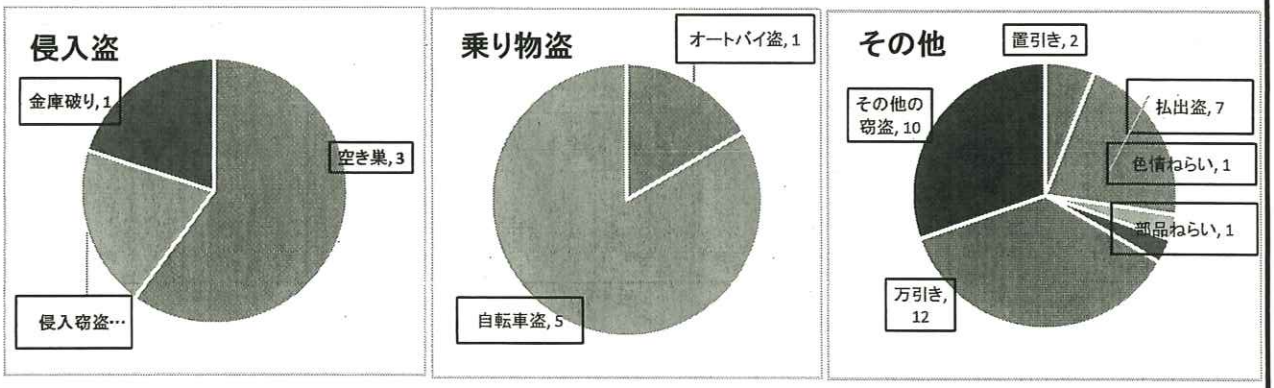
隣接署の状況(暫定数)

令和5年1月末現在		前　年	前年比
磯　子	53件	38件	39.5%
南	50件	45件	11.1%
戸　塚	83件	60件	38.3%
栄	21件	22件	-4.5%

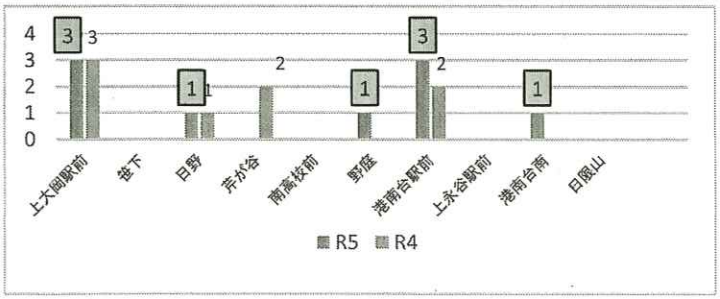
〔港南署月別の発生状況（R5・R4）〕

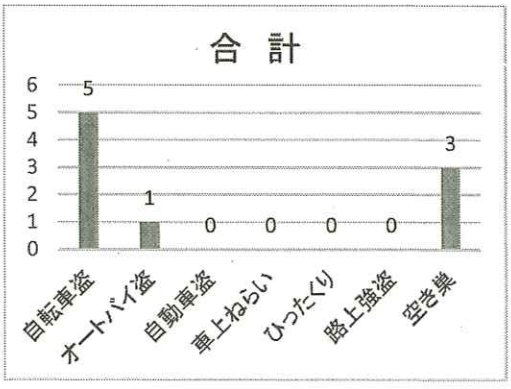


2　窃盗手口別発生状況



3　交番別街頭犯罪発生状況(左棒グラフ・・R5，右棒グラフ・・R4)





○街頭犯罪	本年	前年比
	9件	1件

街頭犯罪…　自転車盗・オートバイ盗・自動車盗・車上ねらい・ひったくり・路上強盗・空き巣

4　特殊詐欺

	件　数	被害総額
港　南	0件　前年比 -2件	約万円
県　内	集計中	集計中

阻止事案	
港　南	5件
県　内	集計中件

刑法犯発生状況一覧表 ～港南警察署管内(月別)～

1 罪種別

（令和5年1月）

罪名別 / 単月	凶悪犯					粗暴犯					窃盗犯				知能犯			風俗犯				その他			合計
	殺人	強盗	放火	強制性交等（強姦）	小計	暴行	傷害	脅迫	恐喝	小計	侵入盗	乗り物盗	非侵入盗	小計	詐欺	その他	小計	わいせつ 強制	わいせつ 公然	その他	小計	横領 占有離脱物	その他	小計	
1月	0	0	0	1	1	1	1	0	0	2	5	6	27	38	0	1	1	0	0	0	0	2	3	5	47
2月					0					0				0			0				0			0	0
3月					0					0				0			0				0			0	0
4月					0					0				0			0				0			0	0
5月					0					0				0			0				0			0	0
6月					0					0				0			0				0			0	0
7月					0					0				0			0				0			0	0
8月					0					0				0			0				0			0	0
9月					0					0				0			0				0			0	0
10月					0					0				0			0				0			0	0
11月					0					0				0			0				0			0	0
12月					0					0				0			0				0			0	0
令和5年1月	0	0	0	1	1	1	1	0	0	2	5	6	27	38	0	1	1	0	0	0	0	2	3	5	47
令和4年1月	0	0	0	0	0	4	2	1	0	7	0	8	23	31	7	0	7	1	0	0	1	2	8	10	56
令和4年比	0	0	0	+1	+1	−3	−1	−1	0	−5	+5	−2	+4	+7	−7	+1	−6	−1	0	0	−1	0	−5	−5	−9

2 窃盗犯手口別

＊数値は暫定値です

＊特殊詐欺は手集計

罪種 / 単月	侵入盗						乗物盗				非侵入盗								合計	特殊詐欺
	空き巣	忍込み	居空き	事務所荒し	その他	小計	自動車	オートバイ	自転車	小計	ひったくり	置引き	車上ねらい	部品ねらい	自販機ねらい	万引き	その他	小計		
1月	3	0	0	0	2	5	0	1	5	6	0	2	0	1	0	12	12	27	38	0
2月						0				0								0	0	
3月						0				0								0	0	
4月						0				0								0	0	
5月						0				0								0	0	
6月						0				0								0	0	
7月						0				0								0	0	
8月						0				0								0	0	
9月						0				0								0	0	
10月						0				0								0	0	
11月						0				0								0	0	
12月						0				0								0	0	
令和5年1月	3	0	0	0	2	5	0	1	5	6	0	2	0	1	0	12	12	27	38	0
令和4年1月	0	0	0	0	0	0	1	3	4	8	0	2	1	1	0	9	10	23	31	2
令和4年比	+3	0	0	0	+2	+5	−1	−2	+1	−2	0	0	−1	0	0	+3	+2	+4	+7	−2

刑法犯発生状況一覧表 ～港南警察署管内(交番別)～

1 罪種別

（令和5年1月）

罪名別 / 交番	凶悪犯					粗暴犯					窃盗犯				知能犯			風俗犯				その他			合計
	殺人	強盗	放火	強制性交等（強姦）	小計	暴行	傷害	脅迫	恐喝	小計	侵入盗	乗り物盗	非侵入盗	小計	詐欺	その他	小計	わいせつ 強制	わいせつ 公然	その他	小計	横領 占有離脱物	その他	小計	
上大岡駅前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	11	14	0	1	1	0	0	0	0	2	2	4	19
笹下	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
芹が谷	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5
南高校前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
野庭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
港南台駅前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	9	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
上永谷駅前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
港南台南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
日限山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※ その他(その他)内訳　上大岡駅前交番2件、芹が谷交番・・住居侵入罪

2 窃盗犯手口別

＊数値は暫定値です

罪種 / 交番	侵入盗						乗物盗				非侵入盗								合計	特殊詐欺
	空き巣	忍込み	居空き	金庫破り	侵入窃盗その他	小計	自動車	オートバイ	自転車	小計	払出盗	置引き	職権盗	部品ねらい	色情ねらい	万引き	その他	小計		
上大岡駅前	1	0	0	0	0	1	0	0	2	2	5	1	0	0	0	5	1	12	15	0
笹下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日野	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0
芹が谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
南高校前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野庭	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
港南台駅前	0	0	0	1	0	1	0	0	3	3	0	1	0	1	1	6	1	10	14	0
上永谷駅前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
港南台南	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0
日限山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0

刑法犯発生状況一覧表

1　罪種別（暫定数値）

	強盗・放火等	暴行・傷害等	窃盗事犯	詐欺等	わいせつ事犯	その他	合計
令和5年1月	1	2	38	1	0	5	47
令和4年1月	0	7	31	7	1	10	56
前年同期比	1	−5	7	−6	−1	−5	−9

2　窃盗事犯の手口別（暫定数値）

	侵入盗	自動車盗	オートバイ盗	自転車盗	置引き	車上ねらい	部品ねらい	万引き	その他	合計
令和5年1月	5	0	1	5	2	0	1	12	12	38
令和4年1月	0	1	2	4	2	1	1	9	11	31
前年同期比	5	−1	−1	1	0	−1	0	3	1	7

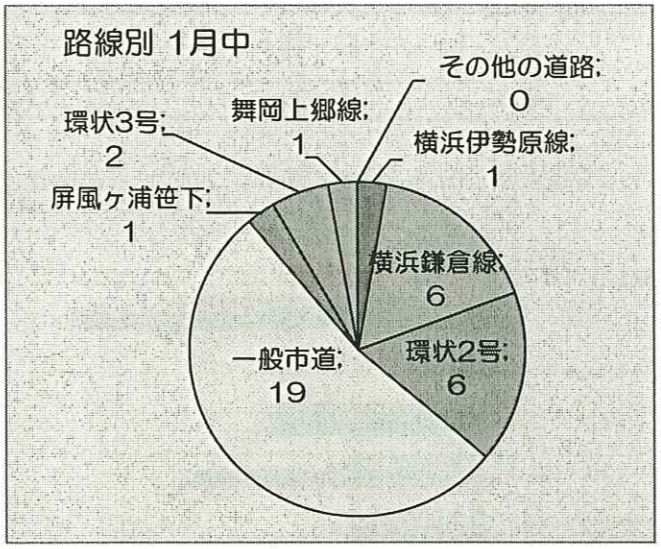
3　特殊詐欺（暫定数値）

	特殊詐欺
令和5年1月	0
令和4年1月	2
前年同期比	−2

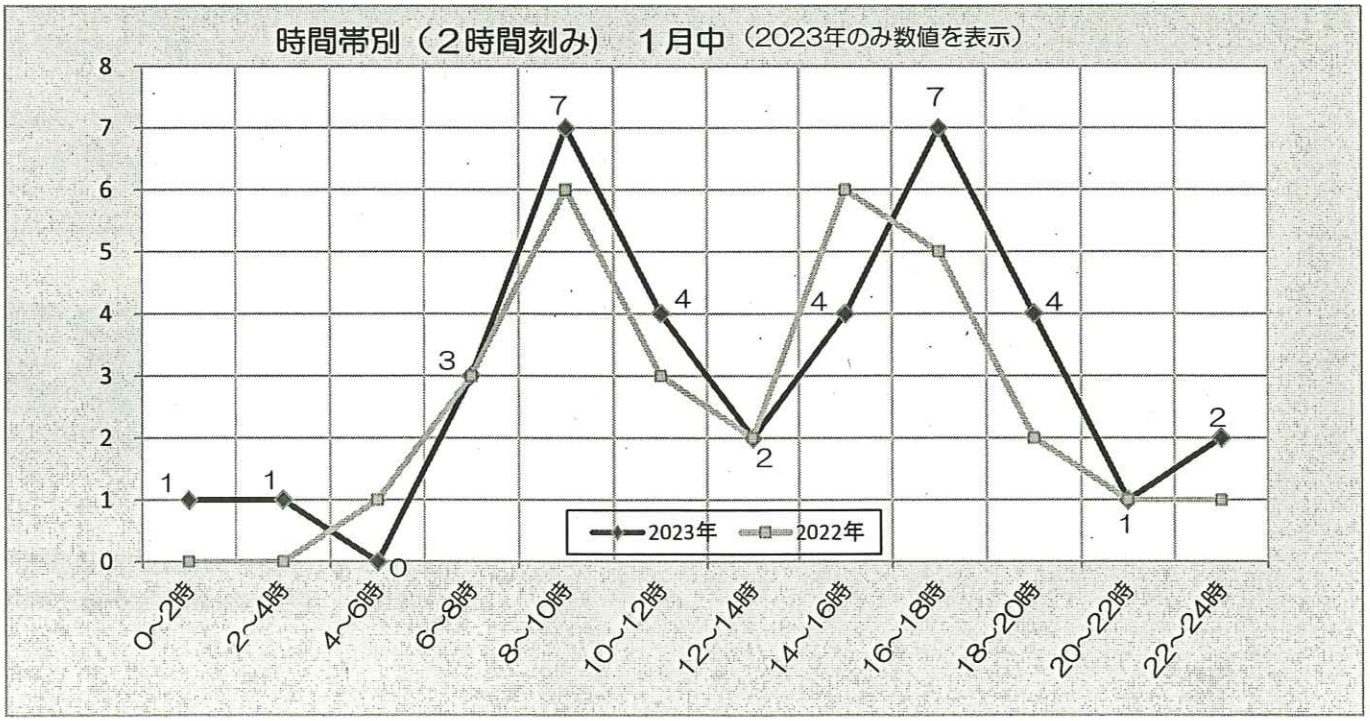
令和5年1月　港南警察署交通事故概況

港南区内（概数） 月・年累計別	件　数	死　者	負傷者
1　月　中	36	0	41
前年比	+6	±0	±0
年　累　計	36	0	41
前年比	+6	±0	+6

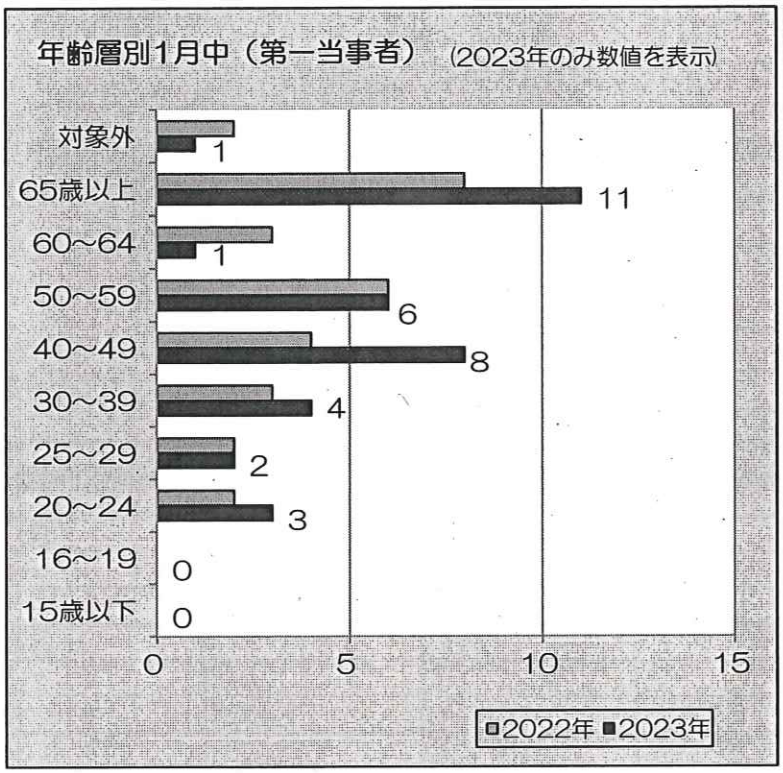
神奈川県内（概数） 月・年累計別	件　数	死　者	負傷者
1月中	1,632	11	1,922
前年比	+55	-2	+121
年　累　計	1,632	11	1,922
前年比	+55	-2	+121

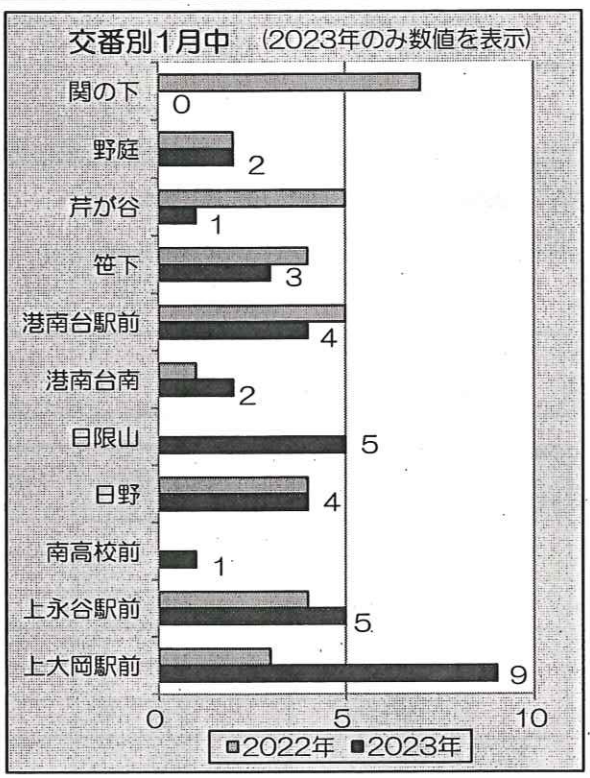


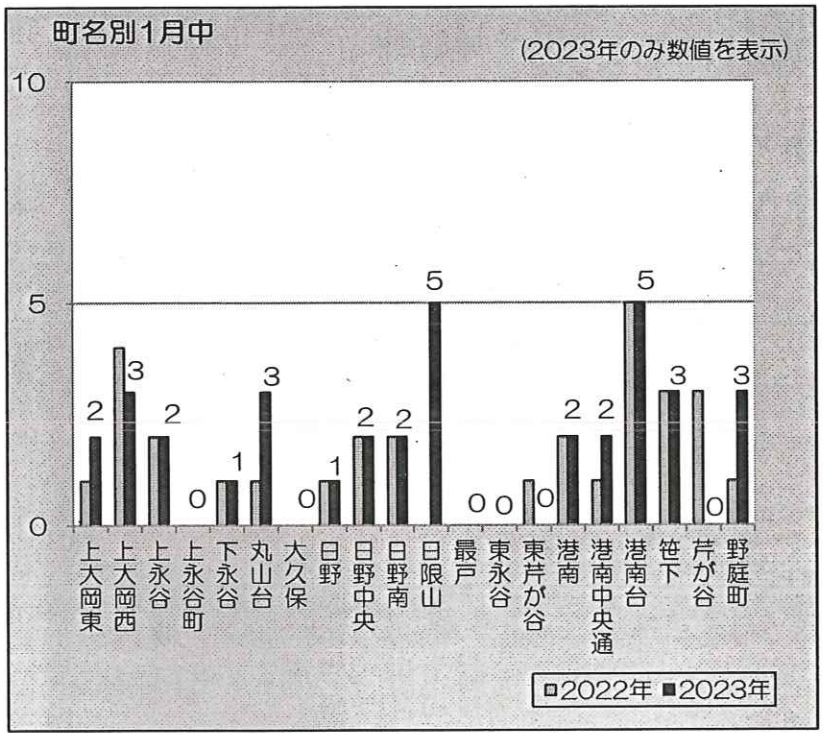
状態別 月・年累計別	二輪車事故	自転車事故	高齢者事故	子ども事故	全事故件数
1　月　中	6	7	16	1	36
前年比	-6	+2	+3	-2	+6
構成率	16.7%	19.4%	44.4%	2.8%	＊＊＊
年　累　計	6	7	16	1	36
前年比	-6	+2	+3	-2	+6
構成率	16.7%	19.4%	44.4%	2.8%	＊＊＊
県下の構成率	28.2%	22.9%	35.7%	6.2%	＊＊＊



類型別 / 月・年累計別	人対車両				車両相互						車両単独	合計
	横断		その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	右左折	その他	計		
	歩道上	歩道外										
1月中	7	1	4	12	0	11	2	4	5	22	2	36
前年比	+4	±0	+1	+5	±0	+4	±0	-2	-3	-1	+2	+6
年累計	7	1	4	12	0	11	2	4	5	22	2	36
前年比	+4	±0	+1	+5	±0	+4	±0	-2	-3	-1	+2	+6
構成率	19.4%	2.8%	11.1%	33.3%	0.0%	30.6%	5.6%	11.1%	13.9%	61.1%	5.6%	100%
1月中 二輪車	0	0	0	0	0	2	1	2	0	5	1	6
前年比	±0	±0	±0	±0	±0	±0	-1	-2	-4	-7	+1	-6
構成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	83.3%	16.7%	100%







最新のデータ（カラー版）を港南警察署ホームページに掲載しています。
ホームページTOP→交通関係→交通事故発生状況→令和5年1月港南警察署交通事故概況（PDF）

港南警察署

（数値は2月1日現在の概数で、確定値ではありません。変更される場合があります。）

区連会２月定例会資料
令和５年２月20日
港　南　消　防　署

令和5年1月　火災・救急の概況

			港南区			横浜市		
			本年	前年同日までの累計	前年比	本年	前年同日までの累計	前年比
火災	**火災件数**		**2**	**3**	**−1**	**65**	**61**	**4**
	種別	建物火災	1	1	−	45	41	4
		林野火災	−	−	−	−	−	−
		車両火災	1	1	−	6	8	−2
		船舶火災	−	−	−	−	−	−
		その他の火災	−	1	−1	14	12	2
	損害程度	床面積（㎡）	0	0	−	1,004	246	758
		死者（人）	−	−	−	2	2	−
		負傷者（人）	3	−	3	14	6	8
	主な原因	たばこ	1	1	−	10	10	−
		マッチ・ライター	1	−	1	4	−	4
		―	−	−	−	−	−	−
火災以外	その他災害		**123**	**98**	**25**	**1,724**	**1,710**	**14**
救急	**救急件数**		**1,362**	**1,241**	**121**	**22,108**	**20,167**	**1,941**
	種別	急病	982	851	131	16,082	13,931	2,151
		交通事故	36	30	6	629	714	−85
		一般負傷	239	285	−46	3,901	4,034	−133
		その他	105	75	30	1,496	1,488	8
	出場形態	消防車＋救急車の連携した件数	98	80	18	1,329	1,335	−6
		ミニ消防車＋救急車の連携した件数	25	25	−	612	486	126

区連会２月定例会資料
令和５年２月２０日
港南消防署

家庭防災員制度の一部見直しについて

令和４年10月の定例会における「(仮称) よこはま防災パーク」の創設に関する情報提供のなかで、家庭防災員制度の見直しについて、検討を進めることを説明させていただきました。

このたび、定例会や地域の皆様から寄せられたご意見等を踏まえ、令和５年度以降の家庭防災員制度について、次のとおりご報告いたします。

１　変更点

(1) 研修受講者の募集方法

自治会・町内会からの推薦又は応募により受講者を募集します。

(2) 家庭防災員自主活動補助金制度の見直し

これまでの家庭防災員に限定した個別の補助制度を改め、家庭防災員をはじめとした地域の皆様の自主活動を広く支援するための活動経費について、令和５年度消防局予算に計上のうえ議会に上程し、審査中です。

２　今後の予定

開催日程や募集方法等の詳細は、令和５年度に各消防署から区連会等を通じてご案内させていただきます。

３　その他

研修（座学・実技等）の内容や、所定のカリキュラムを受講された方への「修了証」の交付については、変更はありません。

【参考】研修内容

区分	内容
防火研修	住宅防火対策（出火防止、消火方法）　等
救急研修	救命処置要領（AED を含めた心肺蘇生法）　等
地震研修	地震の知識や対応方法　等
風水害研修	風水害の知識や対応方法　等
災害図上訓練	災害図上訓練（DIG 研修）

担当：港南消防署総務・予防課
亀山・長谷川
045 - 844 - 0119

区連会２月定例会資料
令和５年２月 20 日
医療局医療政策課

済生会横浜市南部病院再整備事業にかかる説明会のお知らせ

OPEN YOKOHAMA

済生会横浜市南部病院は、開院から 40 年近く経過し、施設の老朽化・狭あい化が課題となっています。そのため、旧資源循環局港南工場跡地を移転先として、再整備を実施します。

このたび、今後必要となる病院の都市計画変更※の手続に向けて、令和 10 年度開院予定の新しい病院の計画概要やスケジュール等について、次のとおり説明会を開催します。

※都市計画変更：都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備等に関する計画を定めます。

日　時　４月 21 日（金）19 時～20 時（開場 18 時 30 分）
４月 22 日（土）10 時～11 時（開場９時 30 分）
両日とも同内容です。

会　場　横浜市病院協会看護専門学校体育館（港南台３－３－１）
ご来場の際には公共交通機関をご利用ください。駐車場の用意はありません。

定　員　各 200 人（事前申込制・先着順）

申込み　受付期間　３月 27 日（月）９時 30 分～
〇専用申込サイト（下記ＱＲコード参照）
〇電話申込　　受付窓口　株式会社イム都市設計
電話番号　０３－３３０３－２４００
受付時間　土・日曜日を除く９時 30 分～17 時

専用申込サイト QR コード

後日、市ホームページにて説明会資料を掲載する予定です。

【お問合わせ先】
横浜市医療局医療政策課　TEL：671-2972
〒231-0005　横浜市中区本町 6-50-10

【参考】済生会横浜市南部病院再整備事業について

1　済生会横浜市南部病院について

済生会横浜市南部病院は、民間による建設・運営を基本とした高度な医療機能を有する「地域中核病院」の第１号として、昭和 58 年に港南台で開院しました。社会福祉法人恩賜財団済生会が整備し運営を行っており、開院から現在に至るまで、市南部地域の高度急性期・急性期医療の中心的役割を担うほか、救急や災害時医療等の政策的医療を担っています。

2　再整備計画地

○所在地
　港南区港南台八丁目４番２

○敷地面積
　約 40,000 ㎡

3　新しい南部病院の概要

■　**医療機能**

- 病床数　　420 床
- 外来患者数　　800 人程度/日
- 建物規模　　36,000 ㎡～38,000 ㎡程度
- 主な医療機能
  二次救急拠点病院、小児救急拠点病院、産科拠点病院、神奈川県がん診療連携指定病院、地域医療支援病院、災害拠点病院　等

■　**主な施設整備上の考え方**

- 旧港南工場の建物解体と新病院の建設工事を済生会が一体的に実施
- 環状３号線に面してロータリーを設け、自動車やタクシー等の乗降に配慮
- 駐車場台数は、自走式立体駐車場の整備も検討の上、十分な台数を確保

4　今後の都市計画手続スケジュール（予定）

事業年度	R４年度	R５年度	R６年度	R７年度	～	R10年度
都市計画手続		事業者説明会（今回） → 都市計画手続				
南部病院再整備		設計等		南部病院建設工事		開院予定
関連工事		法面保護工事	旧港南工場解体工事			

※現時点での想定スケジュールです。事業の進捗等により変更になる場合があります。

港南区役所で ARフォトフレームを使った 記念写真を撮りませんか？

港南区では、「AR」を活用した写真撮影サービスを開始しました。
転入のお手続きや婚姻届、出生届の提出、乳幼児健診などに
お越しになった記念として、区役所で記念写真を撮影しませんか？

※「AR」とは、実在する風景にイラストや情報を重ねて表示する技術です。

【撮影手順】

1　右の二次元コードを読み込んでください。カメラアプリが起動します。
・画面の「自動回転」はオフにしてください。
・Androidの方は「Google Chrome」でお開きください。

2　スタンプやフレームを使用して、お好きなデザインを作成してください。
テキストも入力できます！

3　デザインが決まったら撮影しましょう！
撮影したデータは保存して、家族や友人と共有できます！

＜お問合せ＞ 港南区区政推進課企画調整係（Tel:045-847-8327）

令和５年２月 20 日

地区連合町内会長・自治会町内会長　　各位

港南区地域力推進担当課長

令和４年度　ＩＣＴ活用アンケートについて（依頼）

港南区では、「横浜ＤＸ戦略」において、「デジタル区役所」のモデル区として選定されており、「あったかデジタル 港南」を進めています。

この一環として、各地区連合町内会及び自治会町内会向けに、ＬＩＮＥ活用講座の実施や機器等導入にかかる補助金の交付等を行ってまいりました。

各地区連合町内会及び自治会町内会の状況や課題等を把握するためＩＣＴ活用アンケートを実施しますので、御協力をお願いします。

【 目 的 】　各自治会町内会のＩＣＴ活用状況、課題やニーズを把握し、地域に寄り添ったＩＣＴ活用を支援するための参考にします。

【 対 象 】　港南区内の地区連合町内会長（１５団体）及び自治会町内会長（１６８団体）

【回答期限】　**３月 15 日（水）**

【回答方法】　下の二次元コードから又は裏面のアンケート用紙で御回答ください。

アンケート用紙提出先
郵送　　：２３３－０００３　港南区港南４丁目２番１０号
ＦＡＸ　：０４５(８４１)７０３０

・パソコンからも回答できます。
Google 等検索サイトで「横浜市　電子申請」で検索し、「横浜市電子申請・届出システム」にアクセス。
トップページの【申請できる手続き一覧】の「個人向け手続き」をクリック。
キーワード検索で「港南区　自治会」で検索、該当アンケートを選択して回答。
URL: https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/4cf40268-3e7b-4db1-8ee6-8f14a764bcad/start

「あったかデジタル 港南」と地域でのＩＣＴ活用

デジタルの力で区民の皆さまの利便性向上や区役所業務の効率化を進めることで、区民の皆さまと向き合う時間を増やし、これまで以上に「あったかい区役所」を実現します。

地域活動においても ICT 活用を進めることで、時間や場所に関係なく円滑にコミュニケーションが取れることにより利便性が増し、役員の負担軽減や新しい担い手掘り起こし等につながることが期待できます。

担当：港南区地域力推進担当 柴田、松本
TEL：847-8383　　FAX：841-7030
E メール：kn-chiiki@city.yokohama.jp

回答期限：３月15日（水）まで

令和４年度ＩＣＴ活用アンケート

地区連合町内会・自治会町内会名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

自治会町内会活動のＩＣＴ活用状況について（あてはまるものすべてにチェック）

□行事の案内通知に LINE 等の SNS やメールを利用

□役員同士の連絡に LINE 等の SNS やメールを利用

□回覧板を電子で行っている

□自治会町内会のホームページを作成

□自治会町内会の SNS（Facebook・インスタグラム等）を作成

□会館に Wi-Fi 等のネット環境が整備されている

□オンライン会議を実施している

□その他（　　）

□特に活用していない

自治会町内会活動でＩＣＴ活用が難しいと思われる要因（あてはまるものすべてにチェック）

□機材等がない	□ＩＣＴ活用についてよく分からない
□費用が高い	□必要性がない
□詳しい人がいない（少ない）	□その他
□セキュリティ面で心配がある	（　　）

自治会町内会活動で今後活用してみたいと思うもの（あてはまるものすべてにチェック）

□ LINE 等の SNS	□オンライン会議
□行政への書類をオンラインで提出	□その他
□電子回覧版	（　　）
□ホームページ	

自治会町内会活動で今年度新たに実施したＩＣＴ活用事例があれば御記入ください。

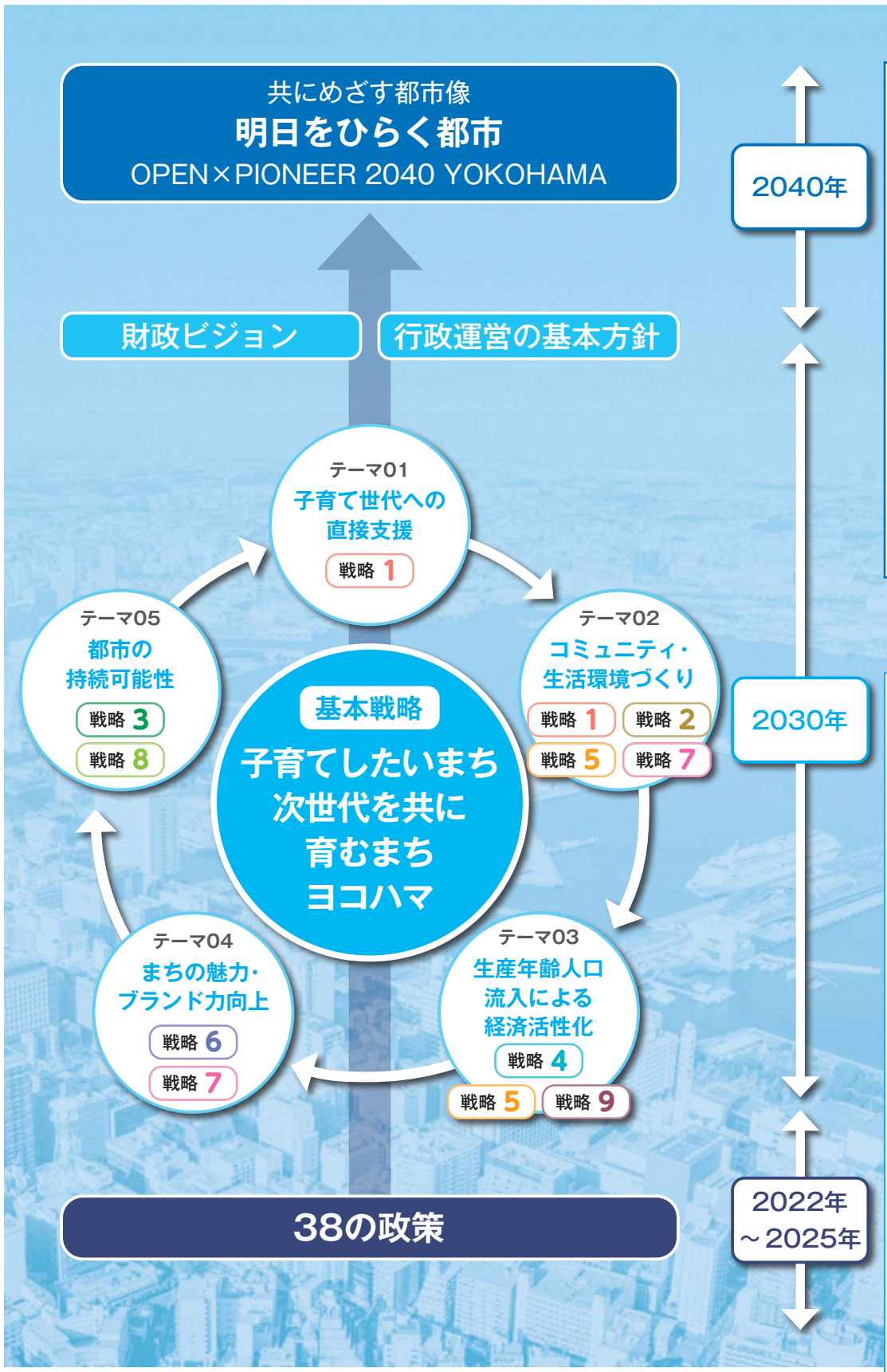
（例）会館にネット環境を整備し、オンライン会議を実施した。

御協力ありがとうございました。

明日をひらく都市 横浜

横浜市中期計画 2022～2025

「横浜市中期計画2022～2025」では、2040年頃の横浜のありたい姿として、「共にめざす都市像」を描き、その実現に向けた「基本戦略」として、目指す中期的な方向性・姿勢を明確にしました。その上で、10年程度の9つの戦略と4年間に重点的に取り組む38の政策及び行財政運営、大都市制度やDXの取組などをとりまとめました。



2040年頃のありたい姿

共にめざす都市像 明日をひらく都市

2040年頃の横浜のありたい姿を「明日をひらく都市」としてお示しし、横浜に関わる、全ての人が前を向き、希望にみちあふれた毎日を送れる、世界のどこにもない都市を目指します。

様々な困難を抱えていても、その人が望む道を選択し、みんなで応援する都市	多種多様な人の才能、その人らしい可能性をひらく都市
たくさんの人が集い、明日を感じ、語らいあえる都市	多くの様々な企業が集まり、つながり、新しい価値を生み出しつづける都市
自然や文化をはじめとした、豊かなまちの魅力をひらく都市	横浜が持続可能であることはもちろん、地球における持続可能性をひらく都市

2030年頃を見据えた戦略

基本戦略 子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ

未来の横浜を担う次世代を育むことで、共に未来を切り拓く市民を増やし、都市の活力・持続可能性を高めます。

横浜に関わる様々な人・団体の皆様との協働・共創を通じて、横浜の魅力を更に高め、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指します。

5つのテーマ

01	子育て世代への直接支援	●出産費用、小児医療費等経済的負担の軽減 ●すべての生徒が満足できる中学校給食の実現　等
02	コミュニティ・生活環境づくり	●自治会町内会等の支援 ●子育て世帯にも居心地の良い図書館づくり　等
03	生産年齢人口流入による経済活性化	●生活圏内での移動利便性の向上 ●中小・小規模事業者への支援　等
04	まちの魅力・ブランド力向上	●ガーデンシティ横浜の更なる推進 ●3つの動物園の特徴を生かした憩い・癒しの場の創出　等
05	都市の持続可能性	●災害から命を守るための地域防災力の向上 ●ゼロカーボンシティの推進　等

9つの戦略　共にめざす都市像の実現に向けた、10年程度の取組の方向性

2022年～2025年までの具体的取組

38の政策　戦略を踏まえ4年間で重点的に推進する取組

財政ビジョン

行政運営の基本方針

「財政ビジョン」で掲げた「必要な施策の推進と財政の健全性の維持」を実現していくためには、政策の優先順位付けも必須です。そのため、「基本戦略」への貢献度が高い策を優先して実行していくことと、「行政運営の基本方針」を踏まえた行政サービスの最適化（事業手法の創造・転換）をセットで進め、将来の横浜市民を支える財源もしっかり確保していきます。

9つの戦略及び38の政策

戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり

冊子 24P~37P

若い世代が横浜に住み、希望する人が安心して妊娠・出産・子育てできる環境づくりなど、子ども・子育て支援のより一層の充実を図ります。

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指し、全ての子どもの資質・能力の向上につながる教育の充実を図ります。

関連する政策

- 政策1 切れ目なく力強い子育て支援 ～妊娠・出産期・乳幼児期～
  - ●出産費用（基礎的費用）の無償化を含む妊娠・出産・子育てにかかる経済的負担の軽減
  - ●中学3年生までの医療費助成の所得制限や一部負担金を撤廃し、安心して医療機関を受診できる環境を整備
- 政策2 切れ目なく力強い子育て支援 ～乳幼児期・学齢期～
- 政策3 困難な状況にある子ども・家庭への支援
- 政策4 児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実
- 政策5 子ども一人ひとりを大切にした教育の推進
  - 中学校給食の利用を原則とし、デリバリー方式による供給体制の確保と生徒に満足してもらえる給食の提供に向け推進
- 政策6 豊かな学びの環境の実現
  - 新たな図書館像の構築と市民の豊かな学び環境の充実

戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり

冊子 38P~61P

健康で生きがいを実感し、住み慣れた場所や希望する場所で自分らしく暮らすことができる地域共生社会を実現します。

医療や介護が必要になっても自分らしく安心して生活することができるよう、介護、医療、保健・福祉の充実を図ります。

関連する政策

- 政策7 市民の健康づくりと安心確保
- 政策8 スポーツ環境の充実

- 政策9 地域コミュニティの活性化
  - 自治会町内会等の運営支援の強化
- 政策10 地域の支えあいの推進
- 政策11 多文化共生の推進
- 政策12 ジェンダー平等の推進
- 政策13 障害児・者の支援
- 政策14 暮らしと自立の支援
  - 生活に困窮している人への自立支援
- 政策15 高齢者を支える地域包括ケアの推進
- 政策16 在宅医療や介護の推進
- 政策17 医療提供体制の充実
  - 妊娠・出産から一貫した子どものための医療体制の充実

戦略3 Zero Carbon Yokohamaの実現

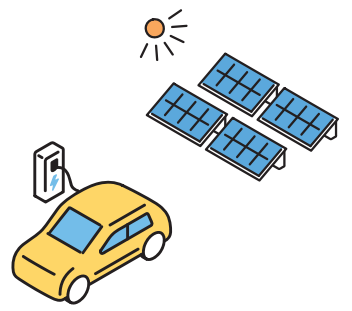
冊子 62P~67P

2050年のカーボンニュートラルの達成に向け、2030年度の温室効果ガス削減目標を50％とし、市民や事業者等の皆様と連携した取組を進め、脱炭素を通じた本市の更なる成長につなげます。

SDGs未来都市の実現を力強くけん引する、環境・経済・社会の総合的取組を実践し、2030年のSDGs達成に貢献するとともに、循環型社会の構築を目指します。

関連する政策

- 政策18 脱炭素社会の推進
- 政策19 持続可能な資源循環の推進



戦略 4 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現

冊子 68P~81P

中小・小規模事業者の事業継続・発展に向けた支援や多様なプレーヤーによるオープンイノベーションの推進、外国人材・外国企業に選ばれる魅力的な環境づくりなどにより、横浜経済の更なる成長や「国際都市・横浜」としての魅力づくりを進めます。

関連する政策

- 政策20 中小・小規模事業者の経営基盤強化 ― 商店街の活性化
- 政策21 スタートアップの創出・イノベーションの推進
- 政策22 観光・ＭＩＣＥの振興
- 政策23 市内大学と連携した地域づくり ― 市内大学の知的資源・研究成果をいかしたさらなる地域貢献
- 政策24 国際ビジネス支援と地球規模課題解決への貢献
- 政策25 世界から集いつながる国際都市の実現

戦略 5 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり

冊子 82P~89P

良好な住環境を維持し、働き方やライフスタイルの変化への対応、地域交通の維持・充実等により、多様な暮らし方ができる持続可能な郊外住宅地のまちづくりを目指します。

関連する政策

- 政策26 人を惹きつける郊外部のまちづくり
  - ●戦略的な土地利用の誘導・推進
  - ●旧上瀬谷通信施設地区における新たな活性化拠点の形成
  - ●国際園芸博覧会の開催に向けた取組
- 政策27 豊かで暮らしやすい住まい・環境づくり
- 政策28 日常生活を支える地域交通の実現 ― 高齢者の外出支援の観点で、敬老パスのIC化により得られる利用実績等も踏まえながら、敬老パス制度（75歳以上無償化）も含め、持続可能な地域の総合的な移動サービスを検討

戦略 6 成長と活力を生み出す都心・臨海部のまちづくり

冊子 90P~95P

国内外から人や企業が集い活躍できる環境の充実や、来訪者が訪れたくなる魅力的なまちづくりを一体的に進めます。

既存施設等の計画的な再生・機能強化、文化芸術創造都市施策による魅力・にぎわいの創出などにより成長と活力ある都市を実現します。

関連する政策

- 政策29 活力ある都心部・臨海部のまちづくり
  - ●山下ふ頭再開発の推進
  - ●回遊性の向上と多様な主体の連携によるにぎわいづくりの推進
- 政策30 市民に身近な文化芸術創造都市の推進

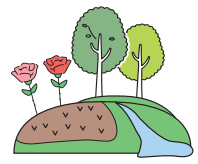
戦略 7 花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜の実現

冊子 96P~101P

多様な恵みをもたらす花・緑・農・水をいかした「ガーデンシティ横浜」の推進や生物多様性保全への理解と行動の促進、活力ある都市農業の展開を通じて、2027年開催予定の国際園芸博覧会の成功につなげ、横浜ならではの魅力とにぎわいを創出し、自然共生による豊かな暮らしを実現します。

関連する政策

- 政策31 自然豊かな都市環境の充実 ― 都市ブランド力の向上に向けた動物園の充実
- 政策32 活力ある都市農業の展開



戦略 8 災害に強い安全・安心な都市づくり

冊子 102P~109P

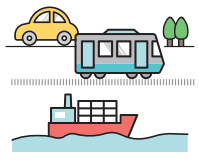
大規模な地震や風水害等の自然災害が発生しても、市民の命を守り、都市機能の維持、迅速な復旧復興ができるようハードとソフトの両面からの取組を進め、誰もが安全・安心に暮らせる強靭な都市を実現します。

関連する政策

- 政策33 地震に強い都市づくり
- 政策34 風水害に強い都市づくり
- 政策35 地域で支える防災まちづくり ― 防災意識の浸透（自助意識の向上）

戦略 9 市民生活と経済活動を支える都市づくり

冊子 110P~117P



交通ネットワークや国際競争力のある港などの整備を推進し、横浜経済の更なる発展と国内外からの人・投資を呼び込みます。公共施設の保全更新を計画的かつ効果的に進め、都市機能の強化を実現します。

関連する政策

- 政策36 交通ネットワークの充実 ― 鉄道ネットワークの整備推進等
- 政策37 国際競争力のある総合港湾づくり
- 政策38 公共施設の計画的・効果的な保全更新

行財政運営

行政運営　「行政運営の基本方針」に基づく信頼と責任のある行政運営

冊子 126P~139P

横浜市は大都市が抱える多様で複雑な課題に直面しています。

持続的な市政に向け、横浜市役所や職員一人ひとりが「市民目線」「スピード感」「全体最適」を重視し、財政を土台とした、これからの政策実現を支えていくための行政運営を推進していきます。

今後４年間の取組

1	組織の最適化と職員の能力・役割発揮の最大化 ❶時代に即した組織体制の構築と人事給与制度の推進 ❷チーム力向上に向けた人材育成と働きやすい職場環境づくり
2	行政サービスの最適化　～事業手法の創造・転換～ ❶新たな価値やサービスを生み出すDXの推進 ❷市民ニーズに応える持続的な行政運営の推進
3	住民自治の充実と協働・共創による地域の更なる活性化

参考　**「行政運営の基本方針」**（令和5年1月策定）

横浜市役所を「創造・転換」していくための、「組織・人材」や「運営の仕組み」の大方針として、「行政運営の基本方針」を策定しました。

▲行政運営の基本方針

財政運営　財政ビジョンに基づく「施策の推進と財政の健全性の維持」の両立

冊子 140P~151P

「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」（財政ビジョン）を踏まえ、「施策の推進」と「財政の健全性の維持」の両立に向けて、財政目標と取組を設定し、多様化・複雑化する課題に的確に対応していく市政の土台となる持続可能な財政運営を進めます。

今後４年間の取組

1	債務管理ガバナンスの徹底による中長期的な視点に立った債務管理
2	戦略的・総合的な取組による財源の安定的・構造的な充実
3	資産の総合的なマネジメント（ファシリティマネジメント）の推進
4	歳出ガバナンスの強化による効率的で効果的な予算編成・執行
5	市民の共感を生み出す情報発信と課題提起

参考　**「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」**
（令和4年6月策定）

「横浜市将来にわたる責任ある財政運営の推進に関する条例」を具体化・実効化する中長期の財政方針として、「財政ビジョン」を策定しました。

▲財政ビジョン

大都市制度

冊子 153P~156P

横浜市では、新たな大都市制度「特別市」の早期実現に向けて取り組んでいます。特別市が実現すると、二重行政が完全に解消され、市民の皆様の暮らしに関わる様々な分野でより効率的・効果的に行政サービスを提供することができます。

横浜市が目指す特別市	市のサービス	国以外の仕事は全て横浜市が担います
	市の税金	横浜市の役割・仕事量に見合った公平な税制にします
	近隣市町村	県や近隣市町村と協力して行政運営を行います
	区	区役所機能・住民自治を強化します

参考　**「横浜特別市大綱」**（令和4年12月改訂）

横浜市にふさわしい大都市制度「特別市」の早期実現を目指し、特別市が求められる背景・必要性や制度の骨子、実現までのプロセス、特別市をめぐる最近の動向等をまとめた「横浜特別市大綱」を公表しました。

▲大都市制度

DXの推進

冊子 157P~159P

ＤＸにより新たな価値・サービスを生み出すことも重視していくことで、多くの市民・事業者の皆様に、デジタル技術による利便性の向上などの変革の価値を実感し、満足度を高めていただきながら、各戦略・政策で掲げる目標を、より効果的・効率的に達成していくことを目指します。

参考　**「横浜DX戦略」**（令和4年9月策定）

横浜市では、民間人材の活用や多様な主体との連携を通じて、ＤＸの実現に向け取り組むため、「デジタル×デザイン」をキーワードに、“デジタルの恩恵をすべての市民、地域に行きわたらせ、魅力あふれる都市をつくる”ことを基本目的とした「横浜ＤＸ戦略」を策定しました。

▲横浜DX戦略

計画冊子の入手方法

●計画冊子は、市民情報センター（市役所３階）で3月頃販売開始予定（金額未定）です。

※冊子は、ホームページで公開しています。

横浜市中期計画2022～2025　検索

編集・発行　令和5年1月

横浜市政策局政策課
〒231-0005 中区本町6-50-10
Tel 045-671-2010 fax 045-663-4613

OPEN YOKOHAMA

◉開催日時 ═ 2023年

3/11(土)

15:30～17:30［開場15:00］

◉会場 ═ **慶應義塾大学 日吉キャンパス内**
藤原洋記念ホール
［東急東横線・東急目黒線・横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅徒歩1分］

◉ 定員 ═ **300名**［事前申込制］

横浜市特別市

指定都市市長会シンポジウム in 横浜

特別市制度の実現に向けて

横浜にふさわしい都市のかたち「特別市」

プログラム

1部
基調講演
「地方制度改革の歴史と展望」

中川 貴元 氏
総務大臣政務官

2部
トークセッション

モデレーター
石井 亮次 氏
フリーアナウンサー

登壇者
辻 琢也 氏
一橋大学教授

登壇者
山中 竹春
横浜市長

◉主催 ═ 指定都市市長会　◉共催 ═ 横浜市

お申込みはこちら
詳しくは裏面をご覧ください

登壇者プロフィール

中川 貴元 氏
総務大臣政務官

早稲田大学商学部卒業、名古屋市会議員（平成7年4月当選後、7期連続当選）、名古屋市会議長、指定都市議長会会長、衆議院議員初当選（第49回総選挙）、自由民主党法務・自治関係団体委員会副委員長、自由民主党財政・金融・証券関係団体委員会副委員長、自由民主党地方組織・議員総局次長を経て、令和4年8月総務大臣政務官（第2次岸田改造内閣）

石井 亮次 氏
フリーアナウンサー

同志社大学文学部卒業後、CBCテレビにアナウンサーとして入社。バラエティ番組から報道番組まで幅広く担当する。「ゴゴスマ~GOGO!Smile!~」（CBCテレビ制作、月~金13:55~）の番組開始時からMCを務める。2020年3月にCBCを退社しフリーアナウンサーへ転身。2019年の週刊文春の好きなアナウンサーランキングでは、在京キー局の有名アナに混じって異例の5位、2021年のJ-CASTニュースの好きなワイドショーのMCでは1位を獲得。著書「ゴゴスマ石井のなぜか得する話し方」（ダイヤモンド社）などがある。

辻 琢也 氏
一橋大学大学院法学研究科教授

東京大学大学院博士（学術）
専門分野：行政学・地方自治論
主な役職：内閣府「税制調査会」委員、総務省「国地方係争処理委員会」委員長代理、横浜市大都市自治研究会座長、第30次・第31次地方制度調査会委員、指定都市市長会「多様な大都市制度実現プロジェクト」アドバイザー

山中 竹春
横浜市長

早稲田大学政治経済学部および同大学理工学部卒業、同大学大学院理工学研究科修了。博士（理学）。
アメリカ国立衛生研究所（NIH/NIEHS）研究員、国立がん研究センター部長、横浜市立大学医学部教授などを経て、令和3年8月、横浜市長に就任。

お申し込み方法

参加を希望する方は、以下の申込フォーム（横浜市電子申請・届出システム）、またはFAXで必要事項をご記入の上、お申し込みください。FAXの場合は下記「FAX申込用紙記入欄」に記載のうえ、ご送信ください。

申込締切　令和5（2023）年3月9日［木］

申込フォーム（横浜市電子申請・届出システム）

◉ 申込者多数により参加不可の場合は3月10日までにご連絡いたします。連絡がない場合は、ご参加いただけます。◉ 参加証はございません。◉ 申込み後、キャンセルされる場合は、3月9日までにお名前、メールアドレスを記載の上、メール（宛先:ss-seidokikaku@city.yokohama.jp）またはFAX（連絡先:045-663-6561）でご連絡ください。◉ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当日は自宅での事前の検温とマスク着用をお願いいたします。◉ 体調がすぐれない際には参加をお控えください。◉ 今後の感染症の流行状況により、中止、延期、開催方法を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。◉ 申込にあたって、入力していただいた情報は、シンポジウム申込者としての把握のためであり、目的外には使用いたしません。◉ 公共交通機関をご利用の上、お越しください。◉ 駐輪場はございませんので二輪車でお越しの際は、市営駐輪場等外部駐輪場をご利用下さい。◉ シンポジウムに関しまして、会場へのお問い合わせはご遠慮下さい。

FAXによるお申込み　045-663-6561

FAX申込用記入欄 下記項目をご記入のうえ、この用紙をご送信ください。

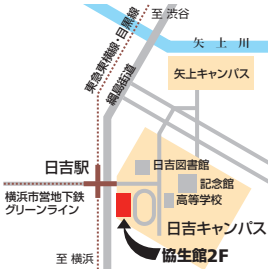
氏名				カナ氏名			
性別	**1.**男性	**2.**女性	**3.**無回答				
年代	**a.**19歳以下	**b.**20代	**c.**30代	**d.**40代	**e.**50代	**f.**60代	**g.**70代	**h.**80代以上
電話番号				メールアドレス			
居住地	**1.**横浜市内（　　区）	**2.**県内（横浜市以外）	**3.**県外				

◉ 車いす席を希望される方、手話通訳・筆記通訳を希望される方はその旨をご記載ください。

◉ 備考欄（その他、補足事項がございましたらご記載ください）

アンケート内容

❶	道府県と政令市の二重行政について、知っていますか?	**1.**はい	**2.**いいえ
❷	横浜市が目指す特別市について、知っていますか?	**1.**はい	**2.**いいえ
❸	横浜市（政令市）に特に期待する施策は、以下のうちどれですか?（複数選択可）	**A.**子育て・教育の充実	**B.**医療・福祉の充実
		C.防災力の強化	**D.**身近な住民窓口サービスの充実
		E.行政コストの削減	
❹	特別市について、質問があれば自由にご記載ください。		



アクセス

慶應義塾大学日吉キャンパス内
藤原洋記念ホール（港北区日吉4-1-1）
東急東横線・東急目黒線・
横浜市営地下鉄グリーンライン
日吉駅徒歩1分
※藤原洋記念ホールは協生館2階です

お問い合わせ先

横浜市政策局制度企画課
電話 045-671-2952
FAX 045-663-6561

指定都市市長会とは……横浜市をはじめ全国20の指定都市で構成。大都市行財政の円滑な推進と伸張を図ることを目的として、大都市共通の課題に関する調査・研究や、地方分権改革の推進、新たな大都市制度の創設、国の予算編成等に関する政策提言・意見表明を行っている。